

学習ユニット「28 他人になりすまして」

1 指導対象

小学校高学年

2 指導意図

インターネットを活用することで、かつての手段では考えられなかったほどの広範囲を対象としてコミュニケーションを行うことが可能になった反面、インターネットの特性のひとつである匿名性が悪用された犯罪も増えつつある。この題材では、パスワードの管理を怠ることで引き起こされた「なりすましメール」の事例を取り上げた学習モジュールを使い、パスワードの重要性と望ましいパスワードのつけかたについて学習する。

3 指導目標

- ・ パスワードの重要性とその管理を怠った時に起こる問題点について考える。
- ・ 望ましいパスワードのつけ方を知る。

4 代表的な授業展開（一斉授業の例）

教室での一斉授業形態で実施する。教材提示用のコンピュータ1台とコンピュータ画面を提示するための液晶プロジェクターを用意し、指導者はコンピュータ画面を児童に提示し、呼びかけや発問を行いながら授業を進める。

(1) 私たちの生活とパスワード（導入・動機付け）

私たちの生活の場でパスワード（暗証番号）が使われている例について想起させ、パスワードを他人に知られて悪用された時に起こりえる不利益について考えさせる。

パスワードが使われている事例

- ・ 銀行や郵便局のキャッシュカード
- ・ クレジットカード
- ・ テレビゲームのプレイヤー認証
- ・ 電子メール受信時のユーザ認証

キャッシュカードの暗証番号に、生年月日や電話番号、住所の番地などの番号を使った場合の問題点について考えさせる。この学習内容は「(4) 望ましいパスワード」の学習に関連する。

(2) 学習モジュール「28．他人になりすまして」の提示（教材提示）

指導者がコンピュータを操作し、学習モジュールを提示する。すべての画面を提示した後に登場人物を確認する。

登場人物

- ・ ダイスケ
- ・ サヤカ
- ・ 先生
- ・ （トオル）

(3) 問題点の確認

各場面での問題点について確認し、登場人物はその場面でどうするべきだったのかを考える。

【問題点】

トオルは自分のメールIDとパスワードの管理を怠っている。
ダイスケはトオルのメールIDとパスワードをメモに控えている。
ダイスケはトオルのメールアカウントをつかって嘘のメールをサヤカに送っている。

(4) パスワード管理の重要性と望ましいパスワード

パスワードの管理に気をつけておかないと、自分が思わぬ不利益を被ることになることがある。特に、パスワードを紙などにメモすると、何かしらの拍子に他人にそれが知れる可能性がある。そこでパスワードをつけるときには、メモをしなくても覚えやすいものにする必要があることを児童に知らせる。

よいパスワード（他人から類推されにくいもの）

辞書に載っていない文字列
アルファベットと数字、記号の組み合わせ
意味を関連付けて覚えやすいもの（例 lo14kaNa? 「びっくりするほど、おいしいかな？」）

悪いパスワード（他人から類推されやすいもの）

誰かの名前
生年月日、住所、電話番号に関連する言葉や数字
辞書に載っている言葉

5 学習課題に関する学習モジュール以外の問題事例（実際に起こった事例や今後発生が予想される事例）

ニフティ、家族会員制度を再開 悪用目立ち、一時は廃止
<http://www.mainichi.co.jp/digital/netfile/jamjam/9806/02-2.html>

広島市では、宅配便業者や役所職員になりすまして児童宅に電話をし、クラス児童の個人情報（電話番号）を問い合わせる事件が頻発している。（と書いてもよいですか?? 他府県はどうでしょう??）